

教育長賞

吉原 綾美(よしはら あみ) 由木中央小 3年生

作品名:宿題をわすれた理由を考えよう

図書:先生、しゅくだいわすれました

先生、しゅくだいわすれましたの本を読んでおどろきました。なぜかというと、たんにんのえりこ先生が、「うそでも、みんながわらえたり楽しめたりできる理由を作れるなら、宿題をやらなくてもいい。」と言ったからです。思わず、「この学校はどうなっているの。」とびっくりしました。みんなが、次つぎに「わすれたい。」と大さわぎになったので、じゅん番に宿題をわすれようということになりました。こうして、毎朝じゅん番に宿題をわすれてしまった、楽しい理由を発表し、それをみんなで聞く時間ができました。毎日おもしろい話を聞けるなら楽しいし、友だちが、どんな話を作るのかわくわくすると思いました。

わたしもそのクラスの一人になって、宿題をわすれた理由を考えてみました。

宿題をしようとしたら、かべの日本地図ポスターから、「せまいよー。」と声がしたと思ったら、47都道府けんがとつぜんとびだして、へや中、大さわぎになりました。つかまえようとすると、「わー、かくれんぼ開始。」とにげだしたので、さがすことになってしまいました。北海道や大きなけんは、はみ手ていたので、すぐに見つかりました。見つかると、「うひゃー、まいりました。」「見つけられたー。」とみんな楽しそうだったので、私も、楽しくなって、む中でさがしました。小さいけんは、とても大へんでした。もうま夜中でしたが、あきらめずにさがしたら、かな川けんは、カレンダーのすきま、おきなわけんは、えんぴつたてにかくれていました。さい後まで見つからなかったのは、か川けんです。もうむりだと思って、つかれてベットにねころんだら、「いたいよー。」と声が聞こえました。なんと、私のせなかにくっついていたので。全部見つかったので、安心して、そのままつかれてねてしまいました。朝おきると、元のポスターにもどっていました。というわけで、ヘトヘトにつかれてしまい宿題が出来ませんでした。こんな話はどうでしょうか。

先生が宿題をやらなくてもいいと言ったのは、計算や、漢字プリントとはちがう力が身につくと考えたのではないのでしょうか。私もやってみて、話を考えて、それ

を文章にまとめることは、とても大へんでした。宿題をやるのには、20分しか、かからないけど、理由を考えるのには、一日中かかりました。さらに、もう一つ思ったことがあります。クラスのみんながなかよくなった気がします。友だちの話を聞いて、その人のことを前よりも、もっと知れたからかもしれません。

この本を読んで、たまに宿題をやりたくない時もあるけれど、自分のためだと心にきめて、がんばりたいと思いました。